



プログラム



15:00~15:05 JST OPERAのご紹介

15:05~15:10 マルチモーダルセンシング共創コンソーシアムの概要
豊橋技術科学大学 OPERA 領域統括 澤田和明

15:10~16:20 研究開発進捗報告

「マルチモーダルセンシングの基盤技術」
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 澤田和明

「マルチモーダルセンシング技術による環境分野への展開」
豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所 准教授 野田俊彦

「マルチモーダルセンシング技術による農業分野への展開」
豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 高山弘太郎

「マルチモーダルセンシング技術による医療創薬分野への展開」
山梨大学 医学部薬理学講座 教授 小泉修一

「マルチモーダルセンシング技術による健康見守り」
東京大学 マテリアル工学専攻 准教授 坂田利弥

「マルチモーダルセンシング技術による人間機械調和への展開」
豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 北崎充晃

16:20~16:55 質疑応答・パネルディスカッション
ファシリテータ：豊橋技術科学大学 OPERA領域統括 澤田和明

16:55~ 閉会

JST OPERA

JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）が平成28年度から開始した「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」では、産業界との協力のもと、大学等が知的資産を総動員し、新たな基幹産業の育成に向けた「技術・システム革新シナリオ」の作成と、それに基づく学問的挑戦性と産業的革新性を併せ持つ非競争領域での研究開発を通して、基礎研究や人材育成における産学パートナーシップを拡大し、我が国のオープンイノベーションを加速することを目指します。令和3年に実施された中間評価では、『優れた成果が期待できる』との評価を受け、本格実施フェーズ後半2年間の研究開発に取り組んでいます。

平成30年度採択：マルチモーダルセンシング共創コンソーシアム

豊橋技術科学大学が世界で初めて開発した「イオンイメージセンサ」の技術をベースとして、さまざまな物理現象や化学現象をリアルタイムで可視化する革新的な「マルチモーダルセンサ」の実現を目指しています。超スマート社会を支える半導体産業の活性化、医療・バイオ・化学分野等の高度情報化に向けた基幹産業の創出を目指します。